

コード	304010305
記入日	H26.6.4

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	野中 絵理子

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	障害児保育補助事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040103	事務事業名称	民間保育所運営費補助事業費	細目コード	256
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町民間保育所運営費補助金交付要綱	

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 民間保育園	(対象指標1) 実施保育園数 3箇所					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・障害児の入所があった民間保育園（白菊保育園、つぼみ幼児園、福見保育園）に対して補助を行った。	*****	*****	*****	実施保育園数÷申請保育園数	*****
		① (達成率分析)	3箇所	100%		平成25年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・障害児保育を推進するため、障害児を受け入れている保育園が、保育士の加配等を行うことにより、処遇の向上を図る。		*****	*****	*****	障害児入所数÷障害児入所希望数	*****
		① (達成率分析)	6人	100%		平成25年度
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 箇所	20	20	17	3	3				
	②									
成果指標	① 人	32	32	26	6	6				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	19,903	19,903	17,008	2,895	2,895				
直接事業費 A	千円	19,903	19,903	17,008	2,895	2,895				
人件費 B	千円									
内	従事職員数	人								
訳	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C	国補助金	千円								
の	県補助金	千円								
財	起債	千円								
源	その他	千円								
内										
訳	一般財源	千円	19,903	19,903	17,008	2,895	2,895			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	障害児の処遇向上のために必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	保育士の加配を行うことで、質の高い保育が行えている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	障害児保育の講習や連携強化を図ることで向上が図れる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	補助額に見合った成果は得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	質の高い保育を維持するためには、代えられない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	町の保健師や発達支援センターの職員とも連携して、事業を行った。
	今後、課題に向けた改善策	今後も連携の強化を図り、より質の高い障害児保育ができる環境を整備する。

2次評価	今後も連携してより質の高い障害児保育ができる環境を整備し、保護者の負担軽減を図るため引き続き支援していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●								
					事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。